

◎令和7年度学校評価アンケート結果

学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。結果を公表するとともに、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

学校教育目標 「主体的に学び 心豊かでたくましい子供の育成」

評価項目	<保護者>		<児童>		<教職員>	
	回答率: 76.0%					
【4: そう思う 3: 少しそう思う 2: あまり思わない 1: 思わない】※空欄(--)は昨年度と質問内容が違うため未掲載						
	R7	R6	R7	R6	R7	R6
<だいすき友達> 夢と 思いやりのある子						
1 学校や学級で楽しく過ごしている。	3.6	3.7	↓	3.7	3.6	↑
2 自ら進んで(元気な)挨拶をしている。	3.1	3.0	↑	3.3	3.5	↓
3 進んで清掃や当番活動をしている。	3.4		-	3.4		-
4 友達と仲良く学校生活を送っている(教職員は関係づくりの指導・支援をしている)。	3.5	3.6	↓	3.8	3.7	↑
5 教職員は児童の悩みや相談に応えている。	3.5	3.4	↑	3.7	3.7	→
<がんばる運動> 健やかで 元気な子						
6 進んで健康づくりや体力づくりに取り組んでいる。	3.4		-	3.5		-
<じぶんから勉強> 自ら考え 進んで学ぶ子						
7 学習の内容が理解できている。	3.0	3.3	↓	3.5	3.4	↑
8 進んで勉強(家庭学習を含む)を行っている。	2.7	3.2	↓	3.1	3.1	→
9 進んで(朝読書や図書の時間を含む)本を読んでいる。	2.5		-	3.0		-
地域に開かれ、地域と共に子供を育てる学校 / その他						
10 家庭と学校との協力関係ができている。	3.2	3.4	↓	/	/	3.3
11 校舎内外の整備や安全確保に努力している。	3.5	3.6	↓	/	/	3.7
12 学校の様子を伝えようとしている。	3.2	3.4	↓	/	/	3.5
13 学校教育を進めていく上で、よりよい効果を上げるためによいと思うことがありましたらお書きください。						
主に、学校と家庭との連携、家庭学習の方法、放課後の過ごし方についてのご意見でした。						

今年度は、児童の学校での姿(実態)に今までより注目したので、昨年度の結果とは一部比較できないものがあることをご理解ください。各項目で注目したいことについて、下記にまとめました。

<だいすき友達>

児童に注目すると、学校での過ごし方や友達関係はとても良好と言えます。「教職員は児童の悩みや相談に応えている。」の回答が、児童・保護者・教職員ともに良好または向上している結果であることから、児童・保護者と教職員が関係を築き、丁寧に話を聞き行動に表すことで安心した学校・教室になっていいると考えられます。

<じぶんから勉強>

学習内容の理解は、児童と保護者、教職員で捉え方に大きな違いが出ました。このギャップを改善するために、学校での学習指導(反復学習)はもちろんのこと、家庭学習(宿題)による復習も必要になります。また、文(文章)を読み取る、想像するための基礎的な力の一つとして、読書が有効です。学校では読書も推進しておりますので、ご家庭でも少しずつ読書に親しんでいただけたら幸いです。

<いただいたご意見>

学級や児童の様子については、学習参観や懇談会等以外にも、いつでも参観にお越しください。児童にとっても、よい刺激になるでしょう。学年だより等の紙面の工夫改善も図って、学校での様子をより見えるかたちにしていきたいと思います。

家庭学習の取り組み方については、宿題のみならず、児童自身の課題や方法を尊重しております。ただ、学年によっては家庭との連携方法を検討する必要が出てきますので、一緒に考えていきましょう。

放課後の校庭開放は、夏季と冬季で時間が決まっています。平日のみとなっており、長期休みや土日祝日は原則開放しておりません。土日祝日の開放は関係団体と今後検討する予定です。時期による変更は学校だよりでお知らせしております。

<学校からの情報発信>

保護者の皆様の約60%がすぐーるのみを希望している一方、約35%がすぐーる+紙面を希望しています。月行事・下校時刻、学年だより、献立表の紙面配付の希望が多い結果でした。2・3月号を試験的配付をしますので事後アンケートにご協力をお願いします。4月以降の配付方法はアンケートを基に検討していきます。